

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(21年8月分)

1. 調査実施期間 平成21年 7月20日 ～8月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

8月分の回答企業数は42社、回収率は89.4%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		21/8月	9月	10月
仕入動向	国産材	△ 28.8	△ 6.1	△ 1.6
	外材	△ 20.5	△ 7.7	1.3
販売動向	国産材	△ 31.3	△ 1.6	4.8
	外材	△ 19.7	△ 1.3	8.1
在庫動向	国産材	△ 30.6	△ 6.5	△ 5.0
	外材	△ 24.3	△ 11.4	△ 4.4

仕入は、国産材、外材とも大きなマイナスを秋需要(10月)に向け急激に縮め、極小マイナス及びプラスと回復の勢い強い。

販売も、国産材、外材とも同様に、大きなマイナスを秋需要に向け一気にプラスと縮め、確実な回復気配伺われる。

在庫は国産材、外材とも大きなマイナスを縮め好転の様相。

7ヵ月間継続した荷動き動向全項目マイナスが、漸く終了し先行きの期待大きい。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	21/8月	9月	10月
スギ正角(グリーン)	△ 7.1	△ 4.8	△ 2.5
スギ正角(KD)	△ 6.8	△ 2.3	△ 2.4
ヒノキ正角	△ 4.3	△ 4.3	△ 2.3
ヒノキ土台角	△ 4.3	△ 2.2	0.0
米ツガ正角(現地挽)	△ 4.8	△ 2.4	△ 2.4
米ツガ防腐土台角	△ 2.3	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	△ 6.8	0.0	2.4
米マツ平角	△ 6.8	△ 4.5	△ 2.4
北洋アカマツタルキ(現地挽)	△ 4.3	6.5	9.1
ホワイトウッド集成管柱	0.0	6.5	13.6
レッドウッド集成平角	△ 2.6	2.6	5.3
型枠合板(国産)	△ 3.6	3.6	10.7
型枠合板(輸入)	5.3	7.9	11.1
針葉樹合板	5.6	11.1	14.7

スギ正角(グリーン、KD)、ヒノキ正角とも小さなマイナスを一層縮め堅調も勢いではない。なおヒノキ土台はゼロと好調な様子。

米ツガ正角はマイナス基調だが概ね堅調。防腐土台角、割物(現地挽)はゼロ、小さなプラスと好調気配。

米マツ平角は小さなマイナスを縮め引き続き気配良い。

北洋アカマツタルキはプラスに回復して強含み。WW集成材、RW集成材ともに本格的なプラス基調と先行き強い。

型枠、針葉樹合板とも先行き大きなプラスと安定し好調。

1. 荷動き		コメント
仕入 動向	米マツ一般材丸太では、米国材輸出価が7月積みも据え置かれた様子で、カナダ材も引き続きセカンド、オールドグロスとも保合いの状態。米材、カナダ材とも出材少なく、現地在庫も減少。(東京:米材問屋)	
	現地生産が落ちている影響で、8、9月は先物契約分が多少減る可能性有り。(東京:米材問屋)	
	入荷が皆無で在庫を食い潰している。(東京:米材問屋)	
	先月同様、各問屋仕入れ減少。(東京:南洋・中国材問屋)	
	7月は荷動きよく、仕入れ販売好調。8月は例年荷動き悪い。特に不足材は無い。(東京:外材集成材問屋)	
	在庫が少なくなれば買っても良い。仕入れは慌てない。(東京:外材問屋) 盆明けに期待。(東京:国産材問屋)	
	一部の製品では、産地側の在庫処分から安値が見られるが、通常発注品は他国の需要回復から強保合い。(東京:南洋・中国材問屋)	
	今は端境期で仕入れ時期ではない。(東京:国産材問屋)	
	良材は堅調である。売れない材は安くても売れないと思う。(東京:特殊材問屋)	
	需要が無いので仕入れも出来ない。(東京:国産材問屋) 旧盆の月で売上が下がる。(東京:仲買小売)	
販 売 動 向	輸入品品薄。針葉樹は強気へ。旧盆挟み正念場。(東京:合板問屋)	
	荷動きの極端な悪化で仕入れ意欲全くなく、安定供給に不安のあるロシア材のみ若干注意している程度。(東京:仲買小売)	
	今年も長い夏休みが続くそう。木材、建材と呼ばれる物は完全に動かず。(東京:仲買小売)	
	米マツ一般材丸太 京浜マーケットでは、役物オールド丸太の製材量が若干回復したものの、一般材製材には回復の兆しが見られず、問屋も価格でボリュームを押し込む商売が出来ないため、当用買いには価格を維持していく商いに転じている。(東京:米材問屋)	
	プレカットからの問い合わせが増えてきている(但しスポット)。(東京:米材問屋)	
	盆休みを控え、駆け込みの注文は散見されるが、あくまでも足らず前の注文であり、本格的なものではない。(東京:米材問屋)	
	売上はやっと下げ止まった感じ。秋需に期待？。(東京:外材問屋)	
	細かい注文は増えてきたが、販売価格は厳しく利益が出ない。(東京:南洋材問屋)	
	お盆前の駆け込みの仕事が目立つ。(東京:南洋・中国材問屋) 夏休み仕事(学校関係)で多忙。(東京:南洋材問屋)	
	相見積もりが多く相当単価を安くしないと決まらない。(東京:国産材問屋)	
在 庫 動 向	荷動き悪いが、ツガ・スプールの代替としてスギの造作材が動いている。(東京:国産材問屋)	
	構造材全く不振。玉不足も応えない。(東京:国産材問屋) 多少引合い増。3m柱材依然不振。(東京:国産材問屋)	
	戸建関係は相変わらず苦戦。学校関係の注文はある。(東京:国産材問屋)	
	外材は付加価値が付かず難しい。(東京:特殊材問屋) 売りは底這いのまま。(東京:国産材問屋)	
	動きは相変わらず徹底当用買い。在庫は通常の半分か？ 仕入易さのためと商い細かいので利益率よい。(東京:国産材問屋)	
	北欧材の羽柄材と米加材・KD小割材に一部品薄のものが出ているが、その他は入荷が少ない割に品物はほぼ揃う。価格もほぼ横ばいで推移している。(東海:外材問屋)	
	相変わらず動きがない。盆明けも変わりそうにない。(東海:外材問屋)	
	いつもの2、8(ニツパチ)。昨年からの景気悪化の浸透。総選挙結果によって荷動きはどうなるのでしょうか。(東京:仲買小売)	
	売れ行き悪い。販売単価下落のため、仕入れる材料の質を落とすようになった。(東京:仲買小売)	
	荷動きが悪く、いつになったら忙しくなるのでしょうか。(大阪:仲買小売) 殆ど変化なし。(大阪:仲買小売)	
在 庫 動 向	京浜港では6月に引き続き7月も米マツ丸太の入荷があり、問屋在庫は今月も積み増しとなった。(東京:米材問屋)	
	サイズにより欠品が生じている。8月後半に若干の入荷があるようだが、残材整理の色濃く品質は疑問である。(東京:米材問屋)	
	全体的な入荷減から欠品が目立つ。(東京:南洋・中国材問屋) 多少積み増し。(東京:国産材問屋)	
	必要な物以外の仕入れは控えている。(東京:国産材問屋) 入荷少なく、在庫も減少。(東京:南洋・中国材問屋)	
極端な在庫減少により、店の存在感に影響。(東京:仲買小売)		
2. 価格動向		
スギ正角	役物の仕入れが安い。構造材は全くダメ。(東京:問屋)	
ヒノキ正角	入荷少ないが、荷動き、価格に目立った動きなし。(東海:問屋)	
土台角	製品在庫、原木ともに少なく、品薄のため値戻し。(東海:問屋)	
米ツガ	秋口に向かい多少でも仕事が出てくると、現地価格上がる事もあり得る。(東京:米材問屋)	
	入荷がないためサイズにより不足。(東海:問屋) 現地挽きの入荷少ない。(東海:問屋)	
米マツ平角	荷動き全くない。値下がりすることもない。(東京:問屋)	
	小割材少々品薄、平角多少荷動きあり、しかし価格は変化無し。(東海:問屋)	
北洋アカマツ	A級品の価格強気だが上げられず。(東京:仲買小売) 横ばい。(東海:外材問屋)	
タルキ	秋頃に原木が少なくなるとの事。よって現在グリーン材からKD材への変更を考慮中。(大阪:仲買小売)	
WW・RW	集成平角は底打ち感が出てきたが、値上げに転じるかは疑問。(東京:問屋)	
集成材	メーカーは値上げしたいが需要芳しくなく現状で推移。9~10月に値上げか。(東京:問屋)	
	安値材がなくなり、いくらかずつ値が引き締まっていく感じがする。(東京:問屋)	
	8、9月積価格は多少値戻し。しかし現地メーカーの希望価格は通らず。(東海:外材問屋)	
	単価は底を打ったようだ。(東海:外材問屋)	
合板	針葉樹合板やや上昇か？。(東京:仲買小売) 横ばい。(東海:外材問屋)	
	底値といわれるが、まだまだ反発出来ず、底辺でさまよったまま。(東京:仲買小売)	